



魚住町金ヶ崎で行われたスイートコーンの収穫体験。獲れたては生で食べられとても甘い。今年度の巻頭写真は「明石の食」をテーマにしています。

第2回定例会
6月議会

消費喚起と生活支援を目的 プレミアム付商品券を発行 9月から販売し転入者などにも給付

第2回定例会6月議会が6月11日から7月2日まで開かれました。明石市特別職の職員に関する条例の一部を改正する条例や少人数学級の推進と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書提出のことなど、議案14件を可決、報告6件を了承、請願1件を採択しました。

生活文化常任委員会では、プレミアム付商品券発行事業について報告がありました。本事業は、消費喚起や生活支援を図ることを目的に、国の交付金を活用し、市内で利用できる商品券を発行するものです。商品券は、今年の9月1日から公共施設などで1冊6千円分を5千円で販売する予定です。また、事業に参加する商店街でのみ利用できる



がんばる商店街を応援

る商店街振興用は、1冊6千円分を4千円で販売し、差額の2千円を市と商店街が負担します。さらに、生活支援を目的として、6月1日時点で市内在住の多子世帯、児童扶養手当受給世帯、障害を持つ子ども、要介護高齢者を対象に1人当たり6千円分の商品券を9月以降に給付します。そのほか、市の人口増加を目的として、7月1日から9月30日までの転入者に対し、1人当たり1万2千円分の商品券を給付します。

委員からは、商店街振興商品券は商店街の負担が大きいのではないかと質問があり、市からは、商店街が活性化のために独自に取り組む事業と合わせ、市内の商店街の良さを知ってもらう契機にしたいとの答弁がありました。また、転入者へ商品券を給付する必要性や効果についての質問に対しては、人口増加施策の一つとして実施し、消費喚起にもつなげたいとの説明がありました。

住民投票条例

検討委員会答申を尊重 制定に向けて慎重に検討

総務常任委員会では、住民投票条例検討委員会の答申を踏まえた条例案の検討状況について報告がありました。答申は、市民フォーラムやパブリックコメントで出された意見を参考に議論を重ねまとめられたもので、昨年10月に市長に提出されたものです。答申では、住民請求に

要する署名数を投票資格者総数の8分の1以上としています。また、住民投票の請求・投票資格については、年齢要件を国民投票法および公職選挙法と同様に18歳以上とするとともに、国籍要件として、日本国籍を有する者に加え、外国人のうち、住民票の作成対象者である特別永住者および永住者や定住者などの中長期在留者も対象者としています。これは、住民として地域活動にも参加する定住外国人も含めて広く意見を聞く必要があるとの考えからです。そして、住所要件は、選挙と同様に市内に引き続き3カ月以上住所を有する



市民の意見を問う住民投票条例

こととしています。委員からは、条例案の作成にあたっては慎重に検討を重ねていくべきであるとの意見がありました。市からは、検討委員会の答申を尊重した上で今後は、市議会や市民の意見を聞きながら条例制定に向け、取り組んでいきたいとの説明がありました。

も 2 市政を問う 15人が登壇
一般質問・質疑

く 3 議員よもやま話

じ 3 議場コンサートを開催

4 要望や意見を市議会に伝える
請願・意見書

5 本会議の傍聴を案内
傍聴へ行こう

6 30人の議員を紹介
私たち明石市議会議員です

8 各議員の議案に対する賛否を掲載
議案の賛否一覧

8 可決した議案を一部紹介
決まりました